祈る!!
疫病鎮静
国家安泰

石鎚社報

発行所
〒793－8555
愛媛県西条市西田甲797番地
石鎚神社・石鎚本教
電話（0897）55－4044

9・10月号

－令和元年秋季例大祭御旅所祭 子供神輿・お稚児さん集合－

道

七月から、レジ袋が有料になりました。今まで何気なくもらっていたレジ袋は本当に必要だったのか。私たちの生活スタイルを見つめ直すきっかけなのだと思います。

日本には「もったいない」と言う言葉があります。

・有用な存在が無駄にされているのが惜しい思い。

・自分が受ける事が、ためらわれる、畏れ多い。

ノーベル平和賞を受賞したケニア人のモータイ女史は、この「ＭＯＴＴＡＩＮＡＩ」を世界中に何度も紹介され、今や地球環境保護の合言葉となっています。

この世界を私たちの子供や孫の時代へと引き継ぐ為に、今、私たちが行うべき事は。変えてはならない事は。変えてゆくべき事は。

コロナとのしばらくの共存も、今を生き抜くためには必要な事です。ワクチンの開発を心待ちにしつつ、未来を夢見て、今をしっかり歩みましょう。

武智。

[秋季例大祭　併、疫病鎮静祈願祭・臨時大祓式のご案内]

ご参拝には、自宅で検温され、マスクを着用ください。

- 本殿内外の三密を回避し、皆さまの健康と安全を最大限に確保しつつ、秋季例大祭の御祭儀を厳修することを、第一義とします。
- 併、疫病鎮静祈願祭、臨時大祓式を厳修します。
- 会館の宿泊、食事は、大祭期間中、休止します。

団体様のご参拝は、ご代表２名様内にて、お願いします。

○コロナ禍の一日も早い鎮静化と、国家安泰、世界平和、すべての命の幸福を、懸命にお祈りします。皆さまも、ご一緒にお祈りください。

○御神像拝戴は、団体、個人のお申込み共に、当面の間、受付を休止しています。
・御祈祷は、通常通りご奉仕します。頂上社、成就社、土小屋遥拝殿、本社にて。

○コロナ禍の状況により、ご参拝の在り方の変更をお願いする場合があります。

◎次の御大祭には、例年以上に盛大な御大祭を斎行できる様、整えて参ります。

○秋季例大祭　予定

１０月３日		豊友会監査会・理事会・総会	書面会議
４日		教会聯合会総会	書面会議
		組合長ミーティング	中止
	１０：００	役員会	実施予定・変更も有
	１７：００	前夜祭	斎行
５日	１０：００	例大祭・疫病鎮静祈願祭・臨時大祓式	斎行　下記詳細
６日	１０：００	祖霊殿例大祭・合祀祭	斎行
７日	９：００	後宮祭	斎行

○１０月５日　秋季例大祭　予定

・例大祭・鎮静祈願祭	大祓詞を奉唱。マスクを着用ください。
・臨時大祓式	人形（ひとがた）配布、お焚き上げを斎行。
・神賑行事は休止	神輿渡御、御旅所祭、花神輿、樽神輿、稚児行列、餅投げ、演芸奉納、お茶席、直会、弁当、煙火等は、休止。
・預かり賽銭、初穂料	持参か郵送ください。神納後、お下がりをお送りします。秋祭の初穂献納の方へ［疫病災除守］を贈呈します。
・御祈祷、お守り	本社窓口か郵送にて、お申し込みください。

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《成就社》

令和二年七月

◎壱拾万円以上　大西志津子

◎五万円以上　末永一同

《本社》

令和二年御山開き大祭

◎五万円以上

愛知遙拝所　澁谷恵美子

令和二年八月

◎参拾万円以上

伊藤　光貞　十亀　貴文

◎五万円以上　大住元キサ子

名本俊春・勇夫・千恵子

（順不同・敬称略）

また、本社での五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただいております。

ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責　権禰宜　大岡

頂上社護持奉賛会寄付者芳名簿

令和二年八月一日から令和二年八月三十一日まで

※五万円以上奉納奉納者

（順不同・敬称略）

◆安芸崇敬組合◆

五万円以上

根石　義明

根石たかえ

坂倉　詩織

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。

尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

担当　大岡・岩本

預かり賽銭のお願い

石鎚神社・石鎚本教で行われております三つの大祭に於きまして、期間中にご参拝出来ない信徒の皆様が、ご代表様、お世話人様に代理参拝をお願いし、皆様方のお賽銭をご奉納頂く「預かり賽銭」が昔より行われております。

この「ご奉納」を通じて、より多くの皆様方に、大神様のご神徳を拝受して頂きたく存じます。

各教会・遙拝所・講社のご代表様は、ご神徳発揚の為、一人でも多くの信徒皆様方へ、ご協力をお伝えして頂きたく存じます。

また、各教会・遙拝所・講社に所属の皆様方は、ご代表様、お世話人様にお尋ねください。お世話人様がご不明な方は、本社へご連絡をお願いします。

春季例大祭

毎年四月四日～七日

（例大祭は五日）

夏山開き大祭

毎年七月一日～十日

秋季例大祭

毎年十月四日～七日

（例大祭は五日）

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の初穂料により、大祭毎に定められた御神札をお世話人様へお預け致します、後ほどお受け取り頂き、お祀り下さいませ。

※預かり賽銭の帳面は、大祭の約二ヶ月前までにはお届けいたします。

お問い合わせ先

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

電話　〇八九七―五五―四〇四四

FAX　〇八九七―五五―七二四二

八大龍王社例大祭斎行　令和二年八月八日

去る八月八日午前十一時より、石鎚神社中宮成就社境内に御鎮座されます八大龍王社において、例大祭並びに、お火焚き祈願祭が斎行されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、本年は信徒の皆様に参列をお控え頂く中での祭典となりました。

新緑の映える青空、心地よい風が吹く中、武智宮司管長の例大祭を言祝ぐ祝詞を奏上、玉串を奉り拝礼し、全国信徒皆様のご守護に感謝申し上げました。

お火焚き祈願祭では十亀権宮司により、三七五本の祈願木に書かれた、皆様の祈願を一本一本読み上げ、願い成就しますよう焼き納め、曽我部英司禰宜の先導で大祓詞、般若心経読誦しご祈念申し上げました。

祈願木と共に、感染症の終息や、参拝出来ない気持ちを綴られたお手紙を多数頂きました。お手紙は祭典当日の朝、八大龍王社の前で奉読させて頂きましたことご報告致します。

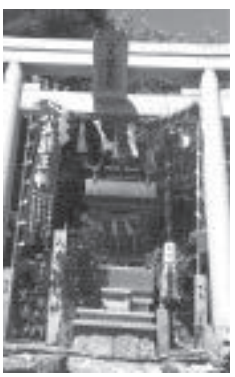
感染症は収まる気配が感じられない程の勢いで拡大しております。信徒の皆様の健康を祈ると共に、一日も早く皆様とお顔を会わせ、酒を酌み交わせる日が来ることを切に願い、ご報告とさせて頂きます。

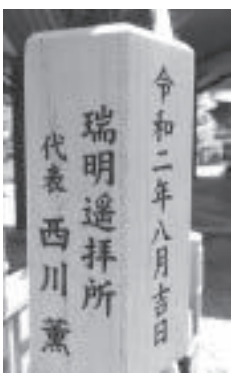
記　権禰宜　曽我部洋輔

八大龍王社 鈴・鈴緒のご奉納

例大祭前日に、大阪瑞明遥拝所所長の西川薫先生より、八大龍王社に、鈴と鈴緒をご奉納頂きました。誠に有り難うございます。

記　権禰宜　曽我部洋輔





霊峰石鎚山
三十六王子社巡拝行
並びに納め札奉納お知らせ

～お知らせ～

※本年の三十六王子社巡拝行は、新型コロナウイルスを鑑み、本社職員にて巡拝行をさせていただく予定です。

◎納め札は随時受け付けしております。

（三十六王子社巡拝行とは）

役行者によって開山され、一千三百有余年の時を重ね、代々の修験者の足跡を直に踏み訪ねて参詣、そして祈りを捧げる三十六王子社巡拝行です。

自然の中に五感を投じながら神仏の御力を頂き、自己を見つめ直す事こそ巡拝行の大きな目的です。

◎納め札奉納について

巡拝時に各王子社にて、祈願内容・住所・氏名・年齢を読み上げ、奉納します。

まずお申し込み戴き、必要冊数の納め札をお送り致します。皆様の手でお書き込み戴きまして返送してください。お申し込みはお早めに。

◎納め札奉納初穂料

一体（三十六枚）

五千円

それぞれに祈願内容、氏名等を祈願主本人がご記入ください。

◎納め札本社提出締切

十月十日

◎巡拝後の授与品

巡拝後に三十六王子社御守を授与いたします。

三十六王子社御守

※巡拝・納め札のお申し込みは各崇敬組合長・教会長・遙拝所長にお申し込みください。（ご不明な点は本社山﨑迄ご連絡ください。）

石鎚神社
（〇八九七）五五―四〇四四

行政顧問　ご就任

公認会計士
徳増　竜伍　先生

神社・本教の行政顧問のお一人に、公認会計士の、徳増竜伍（りょうご）先生が就任された。

去る三月に急逝された、神社・本教の行政顧問、公認会計士、徳増達史先生のご長男である。今般、㈱徳増会計センターを事業承継され、神社本教の行政顧問もお引き受け戴いた。

徳増竜伍先生は、御祖父様、御尊父様に続き、三代に亘る公認会計士である。

神縁人縁を戴き、地元西条市にて、石鎚神社会館の会計を始め本社や教会での土地建物の奉納や取得等、税務指導を戴く予定である。

文責、武智。

㈱徳増会計センター
代表取締役社長
徳増　竜伍　先生
西条市神拝甲511－60
0897－55－6868

教会長、責任役員重任報告

【名　称】石鎚本教敬神教会
【鎮座地】北海道札幌市東区
【教会長・代表役員氏名】
山本　時雄　名誉大監長

右、任期は四年

【責任役員重任者氏名】
山本　時雄
澤田　タマ子
福家　ヤエ子
池田　満里
山本　チヨ子
倉島　雅代
（順不同・敬称略）

右、任期は四年、定数六人

代表役員、責任役員ともに令和二年八月三十日付にて管長辞令発令

以上

新入職員紹介

権禰宜　片岡（かたおか）　明路（あきみち）

五月一日より、石鎚神社権禰宜として奉職させていただく事になりました。片岡明路と申します。

以前は、島根県出雲大社の神職養成機関であります大社國學館にて正階を授った後に、同じく島根県美保関町の美保神社にて六年間神明奉仕に励んで参りました。

此の度、石鎚大神様より戴いた御縁や日頃からの御守護に感謝を申し上げ、石鎚神社に奉職した後も修行や自己研鑽を積んでいきたいと思っております。

一日も早く、立派な神職になれるように努めていく所存でございますので、何卒、御指導御鞭撻の程、宜しくお願い致します。

【7・8月号社報】
―お詫びと訂正―

①、14頁3段目
名称変更教会報告記事中
※代表役員・教会長氏名
正しくは
榎並　好美元老顧問

②、18頁三十六王子社記事中
4段目の三十六王子社御守の画像が「納め札」の画像になっていました。正しくは次の画像の通りです。

三十六王子社御守

右二ヶ所を訂正してお詫び申し上げます。

（編集部）

帰天

河根　秀吉　大人命

神社・本教　名誉顧問
最高功労章　金之笏拝受
元老大顧問・大教正
三月十四日
天寿八十九才

神社・本教、名誉顧問、河根秀吉元老大顧問の帰天の報を、九月に拝しました。

・神社・本教　名誉顧問
・最高功労章　金之笏拝受
・元老大顧問・大教正
・元、常務総代・本教理事
・元、中予崇敬組合長
・元、中予教会長

神社・本教のご奉仕と同時に、地元漁業組合長及び漁業組合統合後の組合長等の公職を拝命等、公私共にご活躍の人生を送られ、近年は松山市内でお静かにお過ごしと伺っていた。

常に心に表裏無く、はっきりと発言される御姿、強いリーダーシップと満面の笑顔は、ご記憶に深い方も多いことと存じます。

河根秀吉大人命の御霊安かれとお祈りを致し、ご報告と致します。

文責、武智。

ご遺族
お孫様　新（アタラシ）　英輔　殿
〒791－1101
愛媛県松山市久米窪田町
422－4
090－9558－7465

帰天

石鎚神社　棟梁
西条周桑崇敬組合長
神鏡笏・元老大顧問
曽我　藤夫　大人命
八月四日　享年七十四才

曽我藤夫、神鏡笏元老大顧問が八月四日帰天された。

・石鎚神社　棟梁
・曽我工務店　会長
・西条周桑崇敬組合長
・御山開大祭、春秋例大祭等の奉仕多年、御神像奉持、神輿渡御、救護班、営繕、神門等

曽我藤夫大人命は石鎚神社生粋の氏子として出生、若年より御山崇敬の念深く、御山開大祭を始め祭事毎に、常に笑顔で汗を流しご奉仕され、同時に平素の陰ながらのご奉仕にも深く尽くされていた。

厳父曽我理大人命の薫育を受け、宮大工としての名声も高く、親子二代で石鎚神社棟梁を拝命。曽我工務店を率い県内外の神社仏閣建立を施行、後継者育成と地域御役を数々奉仕された。

棟梁として周囲を明るく力強く激励しつつも静謐をも好まれ、人の心の痛みに敏にして、傍らに居る人には必ず声を掛けお世話を重ね、しかし吾事には言葉少なく、優しく繊細なお人柄であった。

告別式は六日に営まれ、武智宮司管長が弔辞を奉り、十亀名誉宮司管長夫妻を始め、役員、教会長、信徒各位多数が参列、御霊に久遠のお別れを申し上げた。曽我藤夫大人命の御霊安かれとお祈り致し、ご報告と致します。

文責、武智。

ご遺族
嫡男　曽我孝治　殿
〒799－1101
愛媛県西条市小松町新屋敷
甲2347－1
0898－72－2152

石鎚神社　中宮　土小屋遙拝殿
御鎮座五十周年奉祝 改修工事 ご奉賛のお願い

土小屋遙拝殿は、長年の風雨雪により、御屋根銅板と社殿木部の痛みが進み、二十年来の雨漏りも一段と激しくなり、重ねてきた補修も、もはや限界となりました。

令和三年の土小屋遙拝殿　御鎮座五十周年の記念すべき奉祝年に向かい、施工を進めています。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

組合・教会・遙拝所・講社の方々は所属の長の方へ。所属のない方は、本社へ直接お声がけくださりますと幸いです。

奉祝奉賛会　役員一同

土小屋遙拝殿
御鎮座五十周年の歴史

- 昭和四十五年　石鎚スカイライン開通
- 昭和四十六年　土小屋遙拝殿へ御神像遷座
- 同　土小屋遙拝殿 新築竣工奉告祭斎行
- 昭和六十二年　土小屋遙拝殿 改築工事奉賛会発足
- 平成元年　土小屋遙拝殿 改築竣工奉告祭斎行
- 令和三年　土小屋遥拝殿御鎮座五十周年

土小屋遥拝殿御鎮座五十周年奉祝改修工事の概要

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事石畳の一部改修また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

改修工事費

①銅板御屋根の葺き替え	五二、〇〇〇、〇〇〇円
②木材外壁部の張り替え・防水対策工事	一八、〇〇〇、〇〇〇円
③周辺整備	五、〇〇〇、〇〇〇円
合計	七五、〇〇〇、〇〇〇円

奉祝費

一、奉祝大祭	
奉祝式典	
殿内掲額	
事務費	
予備費	一〇、〇〇〇、〇〇〇円

総合計　八五、〇〇〇、〇〇〇円

ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲　額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

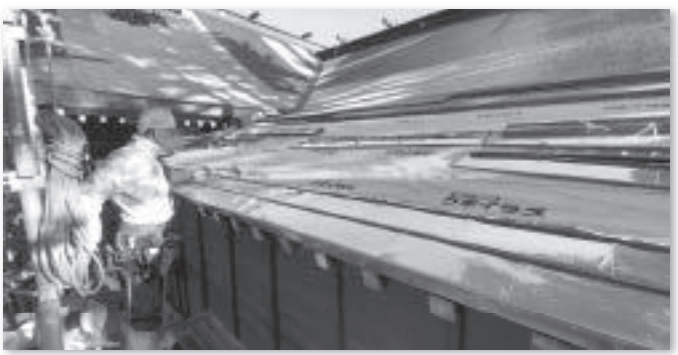
◎ご芳名　　全てのご奉賛者のご芳名を、土小屋遙拝殿に永久保存
◎銅板記名　銅板へお名前を記名
　※銅板記名応対は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。
　※下記は、工事完成後に応対させて頂きます
◎御神札　　本奉賛会にて特別に奉製された御神札
◎記念品　　本奉賛会、記念品
◎感謝状　　本奉賛会、感謝状
◎掲額　　土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額
◎ご案内　　奉祝大祭にご案内
◎銅板奉納　※１口・2,000円～。・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
　　・お名前の記入は１名とさせていただきます。・受付は、お世話人様を通じて。

外された千木（ちぎ）・鰹木（かつおぎ）

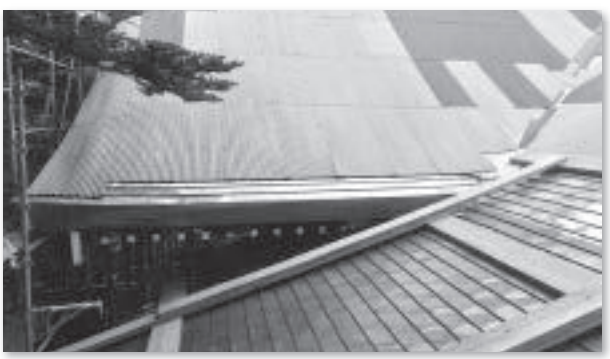
銅板を加工する

繋ぎ合わせた銅板をお屋根へ

銅板を1枚ずつ繋（つな）ぐ



5月下旬の様子



8月25日の様子

6月中頃の様子

御参拝の皆様の健康と安全のためにコロナウイルス感染症への対策について

令和二年九月一日

皆様が安心して安全にお参りいただけますよう、ご協力をお願い申し上げます。

ご参拝には、自宅にて検温され、マスクを着用ください。

祭典

・毎月の月次祭はご自由にご参列ください。
・お席は間隔を空けて設置しています。

御祈祷

・通常通り受付を致しております。
・団体でのお申し込みは本社までご連絡ください。
・祈祷控室では、一定間隔を空けてお座りいただきます。
・床拝殿では、ご家族ごとに間隔を空けてお座りいただきます。
・金幣拝戴神事は、鈴の音を響かせ拝戴していただきます。
・玉串拝礼は榊を使わず、斎主に合わせて拝礼いただきます。

御神像拝戴

・現在、受付を休止しています。

御神札・お守り・おみくじ

・通常通り頒布しております。
・おみくじ箱の横に消毒液を準備しています。

御朱印

・あらかじめ紙に押印した御朱印を授与致します。
・御朱印帳は新規授与分に限り直接記入しております。

職員の応対等

・職員は、検温を行い、手洗い・うがい・アルコール消毒等を細かく行います。
・飛沫感染防止のため、透明ビニールなど設置しております。

※御参拝を控えられる方へ

・御祈祷・お守りは、郵送も受付しております。本社へご連絡ください。

以上、感染防止に努めつつ、神明奉仕をさせていただきます。ご不明な点は、遠慮なくお問い合わせください。

コロナウイルスの感染状況を踏まえ対応を変更する場合がございますので、石鎚神社ホームページも併せご覧ください。

石鎚神社HP

神社会館

・物品販売
会館一階エントランスに品揃えしています。

・ご神水カフェ
会館一階食堂横にて開店しています。

・ご宿泊
宿泊人数を限定して受付しています。
お一人さまから受付可能です。

ご予約・お問合せは、
0897－55－4168　石鎚神社会館

頂上山荘

・物品販売　通常通り営業
山荘入口エントランスに品揃えしています。

・食堂販売（昼食）9月から再開
土日・祝日に限定し販売しています。
数量限定でカレーライスのみご用意しています。

・ご宿泊9月から再開
一日　十五名さま限定といたします。

◉予約時と到着時のお願い
ご自宅の出発前には検温をし、お山にお入りください。
山荘到着後、宿泊者全員の名簿、体調確認表にご記入いただきご提出願います。

◉ご持参品のお願い
・シュラフ・寝袋（山荘の掛フトンや毛布は使用できません）
・コップ
・マスク
・体温計
・消毒用のウェットティッシュ等
・その他必要と思われるもの

○ご予約後も、緊急事態宣言等発令地の方は、宿泊のお控えをお願いします。
※ご予約後に事案が発生した場合は、予約取消を依頼することがございます。

○宿泊においての体調確認事項
1、発熱の症状がないこと
2、咳・咽頭痛、倦怠感など風邪に似た症状がないこと
3、味覚・嗅覚に異常がないこと
4、2週間以内に37・5度以上の発熱がないこと
5、2週間以内に海外への渡航歴がないこと
6、2週間以内に新型コロナウイルス感染者、または
　その疑いがある人との接触がないこと
・右記の事項全てに該当する場合にのみ、ご来荘いただきますようにお願い申し上げます。

ご予約・お問合せは、
080－1998－4591　頂上山荘宿泊専用電話

何卒、ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

石鎚神社 七五三詣

本年、七五三を迎えられるご家族ご親族の皆様、誠におめでとう御座います。

お子様のつつがない成長は、ご家族の何よりの喜びです。

ご家族・ご先祖様のあたたかなお守りと、神様のお守りをいただき、健やかな成長をお祈りしましょう。

祈祷受付終了後、殿内での密集を避ける為に、ご案内に制限を設けさせていただきますことを、ご了承くださいませ。

Ⓠ 今年の七五三は何年生まれですか？

Ⓐ

年　齢	数え年	満年齢
七歳の女児 帯解（おびとき）のお祝い	平成26年 （2014年）	平成25年 （2013年）
五歳の男児 袴着（はかまぎ）のお祝い	平成28年 （2016年）	平成27年 （2015年）
三歳の男・女 髪置（かみおき）のお祝い	平成30年 （2018年）	平成29年 （2017年）

Ⓠ 祈祷料は？

Ⓐ 一件5千円から兄弟姉妹は左記の通りです。

1人　5千円
2人　8千円
3人　1万円

Ⓠ 参拝日が雨の予報なのですが…

Ⓐ 車で本殿までお越しください。お爺ちゃん・お婆ちゃん、皆様ご一緒に本殿までどうぞ♪

Ⓠ お詣りはいつから可能ですか？

Ⓐ 毎月1日15日は午前10時より月次祭の為、時間の制限が御座います。日時がお決まりでしたら、電話にてご確認・ご相談ください。【0897－55－4044】

郵送祈祷のご案内

ご参拝の叶わない方の為に、郵送にて御祈祷のご案内をいたしております。

お手紙や電話・FAX・神社HPからのメールにてお申込みを頂き、神職が御祈祷し、御祈願を込めた御神札・御守をご自宅へ郵送させていただきます。

大神様の御前へご参拝いただいて、直接御神徳を戴いてもらうことが最上ですが、遠方で予定が組めない方、身体の不自由などの諸事の方、また現在では新型コロナウイルス感染予防の為に行動の制限がある方など、ご参拝が叶わない方へのご案内です。

申し込み必要事項

氏名（ふりがな）
生年月日
郵便番号
住所
御祈願料
祈祷内容
電話番号（日中連絡がつく番号）

御祈祷料

初穂料　5千円
　　7千円
　　1万円以上

御神札の種類と大きさ

種類	縦		横
【小木札】	54cm	×	10cm
【中木札】	70cm	×	11cm
【大木札】	84cm	×	13cm
【導者札】	37cm	×	7cm
【舟中札】	24cm	×	6cm

初穂料によって選べる御神札の種類に違いがあります。

尚、御神札を御守に変更することも可能ですので、本社へご相談ください。

連日祈祷のご案内

祈祷申込をされた日から希望の期間、朝の神事に併せて連日祈祷を行っています。

5日間　初穂料2万円
10日間　初穂料3万円
1カ月　初穂料5万円

【中木札を希望の方】
追加　初穂料2千円
【大木札を希望の方】
追加　初穂料5千円

右記の期間以外も承りますので、本社へご連絡・ご相談ください。

石鎚神社 土小屋遥拝殿 もみじ祭り

十月二十三日 十一時 大祭式 斎行

ご参拝には、自宅で検温され、マスクを着用ください。

・殿内の三密を回避し、皆さまの健康と安全を最大限に確保しつつ、もみじ祭の御祭儀を厳修することを、第一義とします。
・皆様へのご案内は、控えさせて戴きます。ご自由にご参拝ください。
・殿内のお席は自由席です。間隔をあけてご着席ください。
・モチ配り、直会など神賑行事は、休止します。

団体様でのご参拝は、ご代表二名様内にて、お願いします。

○神恩感謝と御神徳拝受のお祈りと共に、コロナ禍の一日も早い鎮静化と、国家安泰、世界平和、すべての命の幸福を、懸命にお祈りします。皆さまも一緒にお祈りください。

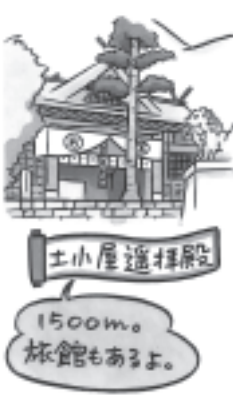
○御神像拝戴のお申込みは、当面の間、受付を休止しています。
・御祈祷は、通常通りご奉仕しています。

○コロナ禍の状況により、ご参拝の在り方の変更をお願いする場合があります。

◎来年の御鎮座五十周年奉祝大祭は、盛大に斎行できる様、整えて参ります。

○**お願い**
・初穂料　ご持参か郵送ください。神納後、撤下品を郵送します。併せ「疫病災除守」を贈呈します。
・御祈祷、お守り、御神酒　窓口か郵送、お電話にて、お申し込みください。

○**頂上社・頂上山荘　十一月三日まで予定**
・頂上社　神職が常駐。朝拝夕拝、御祈祷、授与品の授与をご奉仕しています。
　十一月三日　十一時、閉門祭。
・頂上山荘　宿泊　人数制限し営業しています。
　昼食　土日祝日のみ、カレーのみ販売しています。



成就社 もみじ祭り

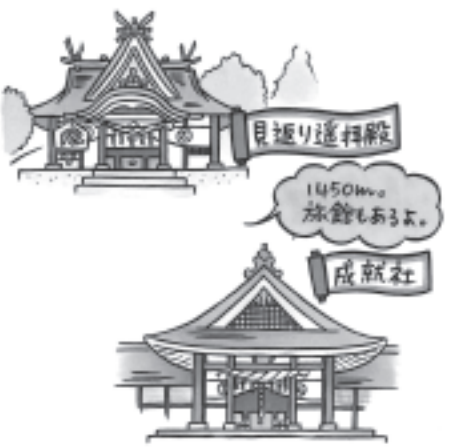
期間
十月四日（日）より十一月三日（火・祝）までの日曜・祝日

祭典
十月四日　十時より初日祭
十一月三日　十時より終了祭

この期間は特に紅葉が素晴らしく、空気も澄み、心と体を癒やしてくれます。
三密を回避し、マスク持参・自宅で検温をされ、お参りにお越しください。
尚、本年の行事・イベントは感染症拡大防止対策の為、休止となります。
詳しくは石鎚神社並びに、石鎚登山ロープウェイのHPをご覧ください。

皆様の参拝を心より
お待ちしております

中宮成就社
TEL 0897-59-0106



おかげ話

たかね第二十五号　平成五年七月一日発行より

「行」

東洋大心福山支部　佐藤　ユリ子

寒行の最終日、道場は一瞬、熱気と感動の坩堝の中で、一人一人の命が一場にとけ合って、自分でない自分がここにある。そんない様のない、ほのぼのとした、自己満足感に酔いながら・・・・・。

心に焼きついた、厳しく有難い石鎚信仰そして戸田先生、それに年と共にポツリポツリと欠けてゆく古い顔ぶれの中にまじって新しい若い人の姿が何としても頼もしき限り。

証は行の結果に求めるべきものではなく行そのものの中に自然ににじみ出てくるもの「行」その事が、そのままおかげであると受けとめさせていただき、寒さも、暗い夜道も老いもしばしば忘れて、心はずむ日々でした。

全く平等の立場で、誰のさしずもなく、存分に、自由に自分を見つめ、素直に明るく、行ずることが出来た同行の友と共々、今年もほんとうに充実した有難い一ヶ月だったと思う。

頂上社護持奉賛会へのお願い

皆さまのご奉賛を戴き、頂上社のご復興より、十六年が経過しました。

皆さま、誠に有難うございます。

厳しい自然環境の中に、頂上社を始め、迂回路等に、維持管理工事の必要性が現れて参りました。

今後もどうかお見守りくださいます様、ご理解、ご協力を、お願い申し上げます。

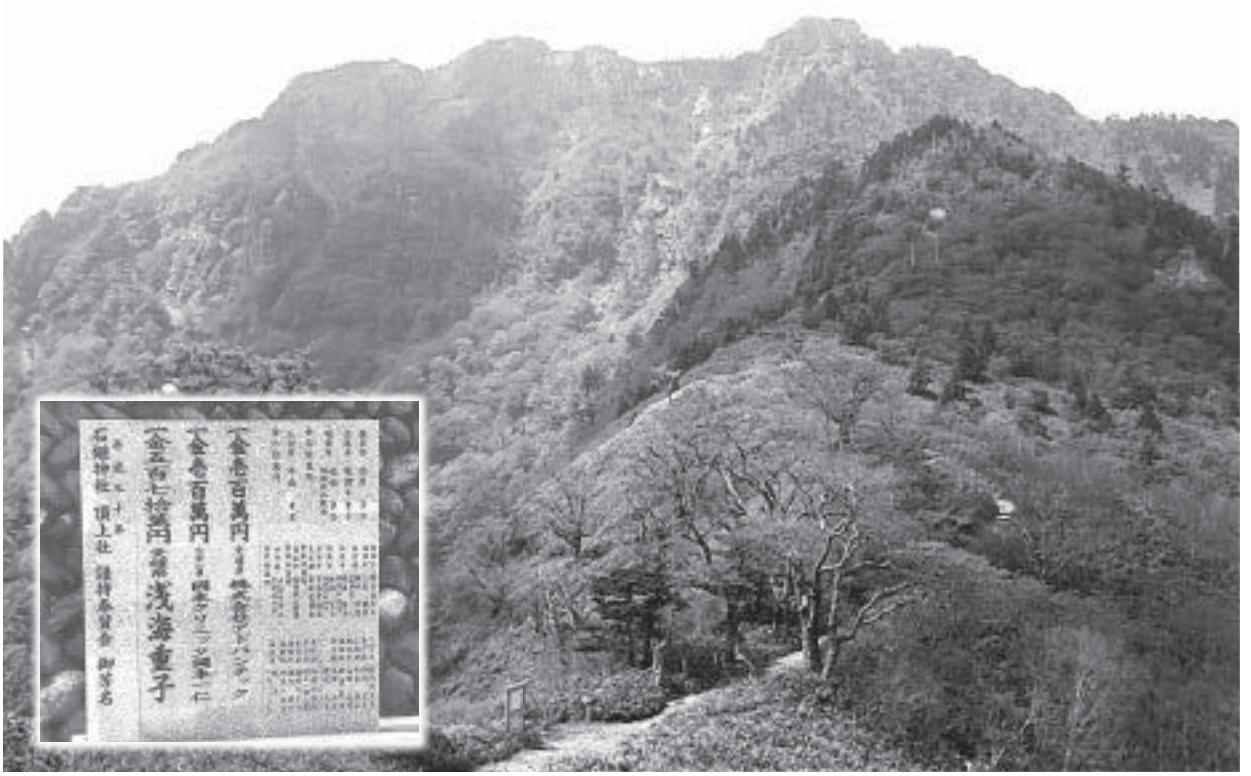
お問い合わせ・郵便受付
〒七九三―八五五五
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚神社　担当、岩本
TEL〇八九七―五五―四〇四四

口座　伊予銀行　小松支店
普通預金　一三九九三九三
宗教法人石鎚神社　宮司　武智正人

・頂上社ご復興奉賛会は［頂上社護持奉賛会］と改め、頂上社維持管理を目的とし、奉賛活動を継承して参ります。

・金十万円以上のご奉賛の方のご芳名は、年毎に本社境内の芳名石に刻名させて戴いております。

宮司管長、拝。



NPO法人

石鎚森の学校活動報告

※Withコロナ期でのツアー実施に向けたセミナー

【日　時】7月31日（金）
午後1時～午後2時30分
【場　所】愛媛県生涯学習センター／松山市上野町
【主　催】愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会事務局・県自然保護課
【有識者】㈱近畿日本ツーリスト中国四国松山支店、㈱近畿日本ツーリスト中国四国地域交流センター支店、㈱旅ｔａｂｉ・ｉｎｆｏ
【出席者】当該協議会団体メンバー等約30名
【事務局参加】曽我部英司事務局長、岩本昌美、黒河由佳両事務局スタッフ

このセミナーは、「愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会」の事務局である県自然保護課が、平成29年2月に作成した「石鎚山系エコツーリズム推進全体構想」から3年が過ぎ、今年度は来年度の見直しに向けた検証事業にて現在実施しているエコツアーの評価や安全性向上のためのセミナー等を外部有識者の協力により、各ツアーの質の向上を図るとともに、地元住民の意識調査等にて、地域へのエコツーリズムの普及の度合いや課題等についても検討し、地域活性化につなげていくことを目的に開催されました。

今回は、特にかねてよりの懸案事項となっている感染症に関する対策やガイドラインの策定が急務とされるなか、大手旅行会社有識者による標記のセミナーが開催された次第です。

思えば・・・去る2月15日以来、コロナウイルス感染症拡大防止のため、石鎚森の学校が関わる行事は全て中止や延期、また会議は書面決議となっていたところ、久し振りの現場での会合、セミナーの開催となりました。やはりメンバーが一堂に会しての会合やセミナーは良いですね！もっとも本セミナーに限ったことでは無いでしょうが、参加者全員がマスクを着用、会場に入る前には検温とアルコール消毒をして入室。2人掛けのデスクを1人が使用しソーシャルディスタンスをとって着席。退出の時には、各自が使用したデスクとイスをアルコール拭きしてから退出という流れになりました。いやはや、今となっては大切な感染症拡大防止対策ですが、会議一つの開催もさらにはエコツアーの催行もかつて無かった配慮や工夫を必要としています。Withコロナ期でのエコツアー実施において感染症拡大防止の「安心・安全」をどのように担保するか・・・関係諸団体それぞれに胸に刻むものがあるかと思います。

※第29回　くもの会写真展

【会　期】8月20日（木）～8月25日（出向・火）
【場　所】いよてつ高島屋南館ギャラリー（松山市）
【主　催】
山岳写真家集団くもの会
【事務局出向者】曽我部英司事務局長、岩本昌美、黒河由佳両事務局スタッフ

常日頃よりお世話になっている「くもの会」さんの恒例の写真展に行ってきました。

記　事務局長　曽我部英司

頂上社 閉門祭のご案内

令和二年
十一月三日（文化の日）
午前十一時より
（時間に多少前後があります）

五月に開門祭を斎行し、夏山大祭を始め日々の神事を執り行いました令和二年。

年毎の例の隨に十一月三日、閉門祭を斎行致します。

石鎚神社HP

【お知らせ】

石鎚社報の購読料は年間六回発行で、五百円です。購読料未納の方は納付をお願いします。

納付年数が不明な方、発送中止が希望の方は本社までご連絡下さい。先達通信号（五月に送付）は先達会符所有者に無料送付させて頂いております。

新規申し込みの方は
石鎚神社　社報係　担当　十亀雅史
までお問い合わせください。

石鎚社報

〒七九三―八五五五
（発行所）西条市西田甲七九七
石鎚神社・石鎚本教
【連絡先】電話（〇八九七）五五―四〇四四　本社
五五―七二四二　FAX
五五―四一六八　会館
五五―七二八一　FAX
五九―〇一〇六　成就
五九―〇四〇八　FAX
五三―〇〇〇八　土小屋
【振替】〇一六八〇―〇―一八三六〇
【発行代表者】武智正人
【編集】十亀雅史
【印刷所】プリ・キュウ・プレス
【購読料】送料共　年五〇〇円

石鎚神社　で　検索